

令和5年10月吉日

関係者各位

北海道有機農業推進協議会
会長 今城正春

「有機栽培技術交流会 in 十勝」の開催について

秋色の候、皆様にはいよいよご清栄のこととお慶び申し上げます。

2021年に農林水産省がみどりの食料システム戦略を策定し、有機農業を耕地面積の25% (100万ha)まで拡大する目標が掲げられて以降、2022年には関連法が制定されるなど、我が国全体として、有機農業を推進していく気運がこれまでになく高まっております。

本協議会は2021年の設立以降、毎年北海道の生産者を対象に、有機農業の活性化に向けた学習会やシンポジウムの開催等を主に活動をしておりましたが、近年、穀物を中心とした北海道の有機農産物が徐々に広がっていくにつれて、これらをどのように加工・流通・販売をしていくかが課題となりつつあります。

つきましては、日ごろから日本の有機農産物の課題に取り組まれております皆様を対象に、小麦を中心とした、これから有機作物の利用拡大に向けた現地情報交換会の開催を計画しましたので、ご出席をお願い申し上げます。

記

- 1 開催月日 令和5年11月14日(火)
- 2 場 所 帯広周辺
(講習会) とかちプラザ視聴覚室 ※オンライン配信あり
(懇親会) 帯広市内を予定
- 3 主 催 北海道有機農業推進協議会
共 催 日本有機加工食品コンソーシアム
- 4 参集範囲 有機畑作・有機農産物に興味を有する生産者、都道府県職員、市町村職員、農業団体職員、農林水産省、公的機関・民間の研究者有機畑作・有機農産物に興味を有する生産者、都道府県職員、生協関係(あいコープみやぎ、アイチョイス事業連合、東都生協、コープ自然派事業連合)日本有機加工食品コンソーシアム会員等
- 5 参加申込み 締切 : 令和5年11月7日(月)

以 上

6. プログラム

14：00～17：00（受付開始 13：30～）

講習会 会場：とちプラザ視聴覚室（オンライン有）
（北海道帯広市西4条南13丁目1）

14：00～14：10 開会のあいさつ

14：10～15：00

「有機堆肥処理施設への取り組みとその意義について（仮）」
有限会社営農企画 取締役専務 今城 正春

15：00～15：50

「共循環栽培について -有機農業を超えて-」
北海道大学 名誉教授 大崎 満

15：50～16：40

「都市下水汚泥の農業利用の意義と課題について」
北海道農業研究センター 上級研究員 池田 成志

閉会

18：00

懇親会（帯広市内を予定）

7. 参加費 無料

但し、1日目懇親会及びについては参加ご希望の方に別途ご案内の上
費用をいただきます。

8. 定員 1日目（現地）80名（オンライン）200名 2日目 十数名

11. 参加申込み・問い合わせ先

北海道有機農業推進協議会事務局（コープ自然派事業連合内）

担当：大城有司

住所：兵庫県神戸市西区見津が丘3丁目8番5

TEL：078-915-7681

FAX：078-915-7681

E-mail：yuji.ooshiro10@shizenha.co.jp